

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0370/502505/02/00		事業の種類		4	
年度	19	事務事業名		高齢者教育事業		作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		高齢者教育事業		担当部課名	生涯学習課				
政策名		愛着と生きがいを育むまちづくり							
施策名		生涯学習		実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
根拠法規及び関連法規									
事業の目的	誰のために(具体的に)	概ね満60歳以上の市民							
	誰(何)を対象として	概ね満60歳以上の市民							
	意図(どのような状態にしたいのか)	高齢者の生涯学習を行うことで、生きがいをもって自立した生活が送れる							

2 事業の概要 Do

実施の概要		金ヶ崎学園大学の開設				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	金ヶ崎学園大学	回数	12	12	12	12

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.036	0.036	100.0	0.036	100.0	0.036	100.0	
	臨時職員	0.096	0.096	100.0	0.096	100.0	0.096	100.0	
支出内訳	人件費	1,509,647	1,265,383	83.8	1,296,831	102.5	1,264,134	97.5	
	事業費	703,346	672,612	95.6	655,660	97.5	579,000	88.3	
	合計	2,212,993	1,937,995	87.6	1,952,491	100.7	1,843,134	94.4	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-	655,000	#####	
	一般財源	2,212,993	1,937,995	87.6	1,952,491	100.7	1,188,134	60.9	
	合計	2,212,993	1,937,995	87.6	1,952,491	100.7	1,843,134	94.4	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		金ヶ崎学園大学学園生							
指標説明(式)		学園生人数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-	510	#####	530	103.9	
	実績	486	518	106.6	510	98.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1		1回当たり単位コスト							
指標説明(式)		(事業費＋人件費)÷12							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	184,416	161,499	87.6	162,707	100.7		—	

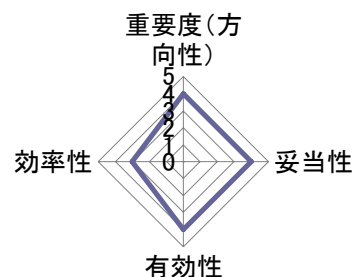
指標名2		参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		(事業費＋人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	4,553	3,741	82.2	3,828	102.3		—	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	市民ニーズ	高齢化率の高い本市において、そのニーズが非常に高い。	5	4
有効性	市民サービス	高齢化が進むにつれ、年々学園生が増加している。	4	4
効率性	コストの節減	1人当たりの単位コスト。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	学習を通して地域のリーダーとして活躍していただけるような意識付けをする。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	金ヶ崎学園大学のあゆみを庁内印刷にする。 地域の活動参加にかかる講座を実施する。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

学園生の学習ニーズを踏まえ、講座を企画する。

検討の有無	—
総合指標	21